

なごみま★ ジョット



やまもと
山本 瑛太くん（新庄町）
H27年1月15日生まれ

父：元気に生まれてきてくれてありがとう。これからも瑛太の成長を見守っています。



まつもと
松本 結衣ちゃん（大谷町）
H26年11月2日生まれ

父・母：心やさしく、健康やかに、たくましくってね。



おかもと
岡本 涼輔くん（三日月町）
H26年7月14日生まれ

母：笑顔で皆を元気にしてくれる涼くん。これからも元気に育ってね。



たけだ
武田 華ちゃん（新庄町）
H24年10月6日生まれ

父・母：おしゃべりが大好きで笑顔のかわいい華ちゃん。これからも楽しいお話を聞かせてね。

お子さんの写真を載せてみませんか？

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、情報政策課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



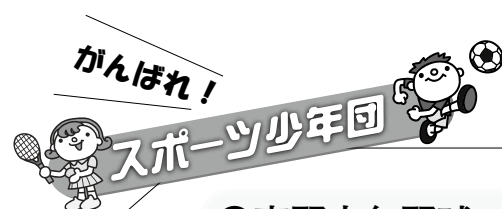
特定非営利活動法人 資源をむだにしない生活を考える市民の会エコ燃料グループ

活動内容 エコ燃料の製造およびリサイクル事業の協働など
廃食油を活用したバイオディーゼル燃料の製造活動により、庄原市が推進する資源のリサイクル事業と協働しています。

【問い合わせ】 事務局 ☎0824-72-5129

市民活動団体登録をしませんか？

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治まちづくり係（☎0824-73-1209）まで。



●高野少年野球

高野少年野球は、小学2年生から6年生までの男子19人が在籍し、週3回の練習を監督、コーチ、保護者一丸となって取り組んでいます。6月までの公式戦では、あと1勝が遠く悔しい思いをしましたが、夏から秋への大会は全力プレーで結果を出したいと思います。

現在、練習試合を組んでいただけるチームを募集しています。気軽に声を掛けてください。よろしくお願いします。

連絡先：事務局 石原豊年 ☎0824-86-2484



にしのみ のる 西野 実さん（西城町）

西城町野菜生産協議会会長兼青ネギ部会部会長。西城町出身。41歳。仙台の大学で7年半勤め平成19年に帰郷。新しく建てた家の1階を作業場に、父のハウスで青ネギの栽培を始める。祖母、おじ、母、妻、子3人の8人家族。耕地面積は約50アール。

心強い周囲のサポート

スーバーなどで見えるロゴ入りビニール袋のヒバゴンネギは、西城町野菜生産協議会青ネギ部会に所属する農家が、農協を通して出荷する土耕栽培のA品の青ネギです。たまに病気や害虫でB品が出ることもありますが、西野さんの青ネギのほとんどはA品です。「就農時、父の技術指導を先入観無く受けるために、本などでは勉強しませんが、

「農業経営を始めるなら、しっかりと計画と準備が必要です。やることが多く不安かもしれませんが、県やJA、地域の生産者などがサポートしてくれまます。それに庄原市には頼りになる県の指導農業士の方々や、悩みを共有できるヤングファーマー（若手農業経営者団体）の皆さんがいます。役も回ってきますが、その分みんなで暮らしを支え合えるんですよ」と言われました。暮らしの維持は大変ですが、頼りになる先輩がたくさんいるようですね。



庄原市内のかがやくひとを紹介します

vol.2

必要十分の庄原暮らし

大学で7年半、毎日遅くまで働いていた西野さん。家族と一緒にいる時間が十分にありませんでした。そんな時、父が営んでいた青ネギ農家の規模を縮小しようという話を持ち上がりました。当時30歳過ぎだった西野さんは、「今ならまだ身体の無理もきく。農業を始めるとなれば若いうちが良い」と帰郷を決断。一番上の子がまだ小さく、転校など引越しの負担が少なかったことも決め手でした。

生活のための農業

帰郷して2年間は父の指導を受け、3年目からは完全に自分で切り盛りするようになりました。早寝早起きの生活ですが、今は家族との時間もたくさんとれ、子どもたちも豊かな自然と地域の見守りの中でのびのびと育っています。「西城に帰っても、上下水道もインターネットもあり、通販などを使えば買い物特にも困らない。前職より収入は減りましたが、生活費が安くすむため困っていません。ただ、飲み屋が少ないのが難点ですけどね。」



作業場には常時数人の作業員が出勤している